

「1日に**11時間以上**も学校で仕事しているのに、
本当に大切なことに時間が使えません。」
「**授業の準備の時間がほしい!**」

ゆきとどいた教育を求める**1162**人の教職員の声

2013年5月 東京都教職員組合北多摩東支部

2013年2月上旬に、次の3項目でアンケートを行いました。

- ① 最近の3日間の平均出退時間と勤務時間を教えてください。
- ② 土日出勤の有無は？（よくある・時々ある・ほとんどない・ないの4択）
- ③ 教育行政に見直しを求めたいことや、今大切にしたいこと（自由意見）



このアンケートに9市の公立小中学校の**1162**人の教職員から回答が寄せられました。（内訳）

武蔵野市 112人	三鷹市 111人	小金井市 106人	小平市 107人	調布市 139人
狛江市 113人	清瀬市 109人	東久留米市 143人	西東京市 222人	9市合計 1162人

- ① **勤務時間・・・平日の校内での勤務時間（平均）は、11時間19分**
 - ② **土日出勤は よくある 344人(30%) ほとんどない 152人(13%)**
時々ある 560人(48%) ない 107人(9%)
- ◆**8割の教職員が土日出勤を（よく・時々）しています。**

【考察】

1日に11時間19分、学校で仕事をしています。

参考までに、昨年10月に実施された全教勤務時間抽出調査（1週間の生活時間を10分ごとに何をしたか詳細に記録）で9市の42人の勤務時間は11時間33分、休憩時間は7分、持ち帰り仕事が1時間59分でした。今回のアンケートと勤務時間はほぼ一致します。（差は14分）

超過勤務は、

1日3時間10分（休憩時間10分と計算）×22日 = 1か月で約70時間

これに持ち帰り仕事と休日出勤の仕事が加わります。持ち帰り仕事の時間を全教調査の半分と見積もっても月に22時間、これに土日出勤の時間を加えると、**月に100時間を超える超過勤務です。これは厚生労働省の過労死ライン（月100時間）に相当します。**

学校の教職員は月100時間の超過勤務という過労死ラインで働いています。健康で子どものために生き生きと働くためには、この長時間労働の打開は急務です。

1162人の教職員の声（自由意見欄より）

アンケートの中で多く意見が寄せられている言葉を取り出してみました。学校現場の声は、次の3項目にまとめられました。

1. 授業準備や子どもと向き合う時間が取れない実態を打開するために改善を望む内容

- ① **教育行政から提出を求められる報告書類・アンケート・調査（意見数263）**
・年次研修の報告書。初任研などの実施報告書。T. Tや少人数授業の時間報告。

- ・いじめ、体罰などマスコミで取り上げられてからアンケート調査をあわててしているが、その後結果をどう活かしているのかわからない。
 - ・アンケートが多すぎます。やるたびに生徒の回答がいい加減になっている気がします。
 - ・似たようなアンケートが何回もくるので1回にまとめてほしい。(特に特別支援関係のものなど)
 - ・ふれあい月間アンケート。毎月のCO2削減チェックシート
 - ・2年前まで20年くらい教務主任をしていました。膨大な外からの調査・報告の書類に膨大な時間をとられていて大変でした。進路調査も卒業後のもので似たようなものが違うところから来てこれも作成するのに各各1時間以上かかっていました。2年前の現職時は7:30~20:00が通常でした。土曜もAMは仕事PMは部活。日曜は部活でした。
 - ・書類づくりを減らしてほしい。学力向上をめざすなら本務に専念出来る時間や環境の確保を。持ち帰りや勤務時間外、土日出勤しないとやっていけない。休憩時間も会議に追われている。
- ◆膨大な調査・報告・アンケートを教育委員会は抜本的に見直して、学校では本務に専念出来るようにしてほしいという意見がたくさん寄せられました。

② 教育行政の施策について (意見数179件)

人事考課・自己申告

- ・自己申告を面談時に細かくチェックされ再提出させられる。自己申告書は、もっと簡素化する。
- ・職員会議で発言したことを自己申告の面談で注意される人がいる。
- ・人事考課による成績率の導入・・・やめてほしい！！みんな頑張っているのにランク分けなんてできないでしょ！自己申告書は不要。授業実践こそ大切。

授業改善プラン

- ・授業改善は現場の教員が日々やっているのだからプランを教育委員会に提出は不要。

学力調査

- ・学力調査のテストの採点、記録など負担大。やめてほしい。
- ・市の学力テスト・全国・東京都からもあり3種類もやる必要があるのか？
- ・学力調査は結果が学校教育に生かされているとは思わない。競争を煽るだけである。

初任研

- ・大量の研修報告書。初任研の報告など研修の後が大変。
- ・1年間の期限付採用という不安定な採用制度はやめてほしい。
- ・新任者の研修は現場で学ぶ時は間を奪っています。人間と向き合う仕事だからこそ現場での経験、体験が何よりも優先されなくてはならないと思います。

時数報告と「時数確保の指導」 授業の持ち時数

- ・時数報告、在籍報告毎月する必要があるのだろうか？長時間勤務：授業+準備・評価の他に本業に関係のない仕事が多すぎる・・・。結局授業の準備のための作業は持ち帰りになっている。
- ・教員の定数増。持ち時数が多い→声が出なくなるほど疲れている。十分な教材研究ができない。
- ・長時間勤務(授業時数)なかなか休みがとれず、自分や子どもの病院に行くのも難しい。

免許更新

- ・免許更新が10年ごとにあるので、10年研もあるのが大変です。どちらかひとつにまとめられるといいのですが。免許更新制をやめてほしい。

小中一貫

- ・小中一貫による、小学校と中学校の乗り入れ等、担任と子どもが離れる時間のあるものはやめてほしい。
- ・小中一貫教育は、実際にはかなり無理な机上の空論になっているのに教育委員はそれを知っているのか？現場はすごく困っているのをもっと理解してほしい。

◆人事考課や学力テストで子どもも教職員も競わせる施策などが学校を窮屈にしているとの意見です。

2. 教育行政や管理職に伝えたいこと・・・意見数84件

- ・保護者との関係を築くため、生徒と信頼関係を築くために自分よりも生徒の話を聞いています。そのため自分の仕事が遅くなり気付くと夜9時の毎日。家に帰って翌日の授業の準備・・・。土日もワークのチェック、ノートチェック、小テストの丸付けなどゆっくり休めません。管理職は早く帰るようにと言うけれど、どうしたら早く帰れるのか教えてほしいです。
- ・病欠・産休の欠員の補充ができなかったことは日常生活にとっても支障をきたしています。人事で困っている場合こそ教育委員会がなんとか力になって頂きたいと思います。
- ・研修の時、休憩時間が全くないのはどうしてなのか知りたい。(市教委主催の研修会)
- ・出産育児が学校にとってマイナスなのはわかるが管理職からのパワハラがあった。子育てしやすい職場になってほしい。
- ・管理職の若い教員に「~できないと首にする。」「~できないとDにする。」などとパワハラ発言。
- ・校長先生が初任の先生に対して頭をたたく行為を数回繰り返しています。私も昨年度1回たたかれました。私は強くではないですが、初任者強い時もあったそうです。教育現場でこのようなことがあっていいのでしょうか？
- ・管理職が現在、とても配慮のある方でとても優しい。ありがたく思っている。
- ・校長の権限強化により、教職員が各自の考えを持ったり、意欲的に取り組もうとする意識がもたなくなっている。最終判断は校長がするものの教職員の考えも尊重する学校運営をしてほしい。

◆人権尊重の教育の場であってはならないパワハラの訴えが各市から寄せられています。組合は顧問 契約を結んでいる弁護士事務所と連携して日常的にパワハラ一掃のために取り組んでいます。

3. 今、大切にしたいこと(要望も含めて)・・・意見数211件

研 修

- ・市主催の強制参加の研修はやめてほしい。自分で行きたい研修を選んでいく方が力がつく。
- ・官権研修の簡素化。自主研修がしたい。子どもと多くの時間を費やしたい。
- ・市の悉皆研修の回数が多すぎる。校内会議や授業時数の確保に支障をきたしている。

授業の準備

- ・教材研究に費やす時間が増えるように事務仕事を減らしたい。
- ・勤務時間後に設定されている会議が多い。おかげで教材研究に費やす時間すらとれない。
- ・じっくり教材研究したいです。報告書づくりに時間がとられ教材研究の時間が不足気味なので形式を簡素化するかなくしてほしい。勤務時間内で授業準備ができるようにしてほしい。

少人数学級

- ・少人数学級の実現・教員の配当数の増加。早く35人学級を。
- ・学級の人数を減らして個の対応をしやすい環境づくり。
- ・とにかく忙しすぎます。クラスの人数が多すぎます(37人。)一番大切なことが後まわしになり、子どもとの距離もすごく離れていることを実感しています。心も体ももたないです。”

賃 金

- ・賃金と教職員数を増やしてほしい。長時間勤務で勤務時間内に仕事が収まらない。
- ・住宅手当の見直し(共働きではないので、ないと厳しい)
- ・学校はチームワークである。階層化したり賃金に差をつけたりするのは職業内容からして適さない。一人の人が有能でも、指導は全体ですることによって効果があるのである。
- ・賃金はこれ以上減らさないでほしい。超過勤務もしているのに。
- ・賃金上げて! 成績率導入やめて! 退職金せめて元に戻して!
- ・非常勤の賃金がずーっと固定されている。

◆30人・35人学級、自主研修と授業準備の時間を求める声が強い。

() 市教育委員会 教育長様

ゆきとどいた教育と健康で働ける学校にするための環境整備についての要請

日頃より、教育条件整備に向けご配慮いただいていることに感謝いたします。私たちは、ゆきとどいた教育と教職員が健康で生き生きと働ける学校を願って活動しています。

しかし、学校現場は健康を害するほどの日常的な長時間労働の中で様々な困難を抱えています。わたしたちは、現状を正確に把握し問題点を明らかにし、ゆきとどいた教育をすすめる教職員が健康で生き生きと働けるために何が必要かを探るために別紙の様なアンケートを実施しました。その調査結果をお届けしますので、下記の点について検討いただきたく要請します。

記

1. 日常的な超過勤務で厚生労働省の過労死ラインを超える教職員の勤務実態の把握を求めます。
2. 教職員は、授業準備と子どもと向き合う時間を切実に求めています。それは、ゆきとどいた教育を求める子ども・保護者・市民の願いと同じです。勤務時間中に本務である授業準備が出来ない実態を打開するために教育委員会が具体的な手立てを講じることを求めます。
その際、学校現場で日々子どもに接している1000名を超す教職員の实態報告と要望を受けとめて検討してください。また、職場代表から実態と要望を聞く場を設定してください。
3. 労働安全衛生法が小中学校の学校現場に適用されるようになった法改正を受けて、労使協議をふまえて市レベルの安全衛生委員会の設置や産業医の配置に早急に着手することを求めます。

2013年 月

都教組北多摩東支部 () 地区協議会



この報告書を、9市の全教職員にお届けしています。また、教育委員会・PTA・教育関係者・マスコミ、そして広く市民の皆様にお届けしています。

学校が子どもたちのにとって楽しく勉強がよく分かる場であってほしい・・・それはみんなの願いです。そのために、アンケートに寄せられた実態・問題点を打開するためにどうしたらいいか幅広い意見交流を願っています。さらに、上記のように各市の教育委員会に申し入れ・懇談を予定しています。このアンケート結果へのご意見・要望などをぜひお知らせください。

この報告書を資料として使っていただけるときは下記までご連絡願います。お届けします。



発行：都教組北多摩東支部（武蔵野・三鷹・小金井・小平・調布・狛江・清瀬・東久留米・西東京の公立小中学校で働く教職員の組合です）

〒184-0011 小金井市東町4-39-8

電話：042(384)2941 FAX：042(384)7904

kita-higasi@mvc.biglobe.ne.jp